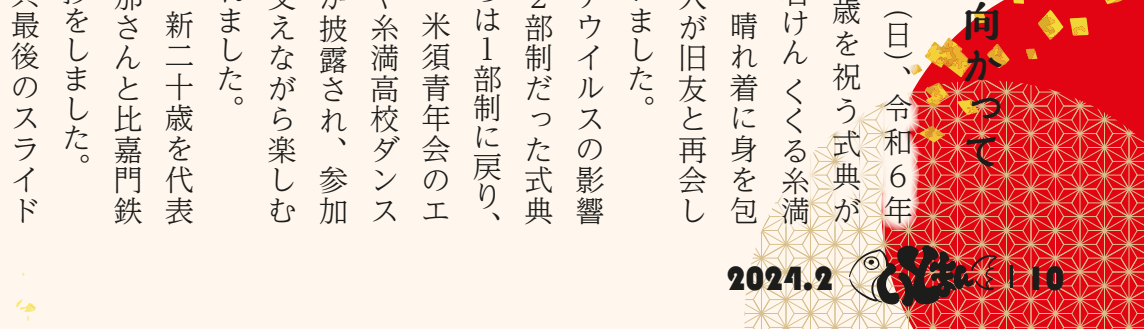
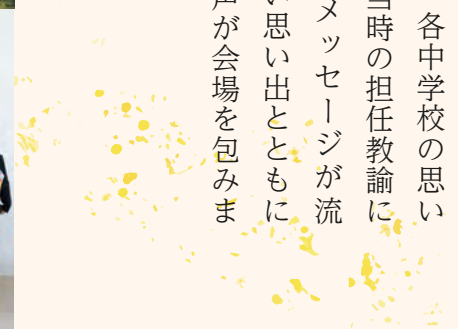
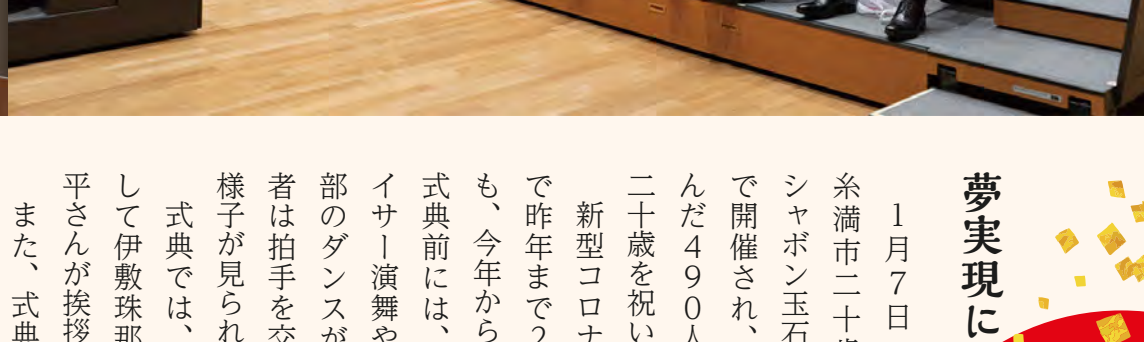
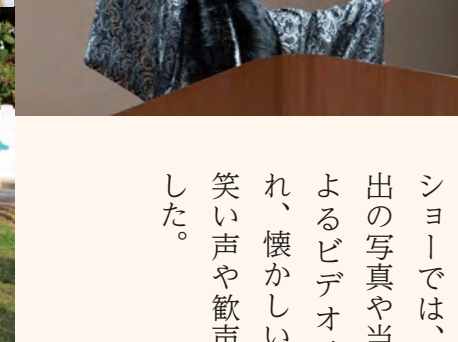


新二十歳代表
伊敷 珠那
私たちがこうして、この美しい自然に囲まれ伝統行事が盛んな糸満市とともに過ごしてきた最高の仲間たちと、人生の節目である今日の式典をめでたく迎えることができたことを心からうれしく思います。これも、今日まで私たちにたくさん愛を注ぎ大切に育ててくれた両親や、時に厳しく、時に優しくご指導くださった先生方、温かく見守ってくださった地域の皆さまのおかげです。改めて感謝申し上げます。

今日という日を胸に刻み、これまで支えてくださいました皆さまへ感謝の気持ちを忘れず、新二十歳としての自覚ある行動に努めることをここに誓います。

新二十歳代表
比嘉門 鉄平
久しぶりに会うことができた同級生があのことと変わっていたり変わっていないかったりしますが元氣そううれしく思います。

私にはこの式典と一緒に出席したかった人がいます。その人は私の幼少から小学生時代までに一番影響を与えてくれた人です。その人からは友達の大切さや外で遊ぶ楽しさ、勝負で負ける悔しさ、そして命の大切さを学びました。当たり前と思っていた日々感謝などしてきませんでした。周りへの感謝です。その感謝を忘れず、各中学校や高校の集まりだったり、これからも付き合っていくであろう親友とこれから先の長い人生を楽しみましょう。



夢実現に向かって
1月7日（日）、令和6年糸満市二十歳を祝う式典がシャボン玉石けんくくる糸満で開催され、晴れ着に身を包んだ490人が旧友と再会し二十歳を祝いました。

新型コロナウイルスの影響で昨年まで2部制だった式典も、今年からは1部制に戻り、式典前には、米須青年会のエイサー演舞や糸満高校ダンス部のダンスが披露され、参加者は拍手を交えながら楽しむ様子が見られました。

式典では、新二十歳を代表して伊敷珠那さんと比嘉門鉄平さんが挨拶をしました。

また、式典最後のスライドショーでは、各中学校の思い出の写真や当時の担任教諭によるビデオメッセージが流れ、懐かしい思い出とともに笑い声や歓声が会場を包みみました。